

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
ガバナー 志賀利彦
ガバナー補佐 安斎忠作
会長 村上裕司
幹事 生田目正志

専任しよう みんなの人生を豊かにするために

2021 - 2022 年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋
 RI会長 シェカール・メータ 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 FAX(024)543-1433
 カルカッタマナガリRC (インド)

通算

第27回 [3069] 例会報告 令和4年(2022) 6月 9日(木)

出席委員会報告

会員総数	42名
出席会員	26名
欠席会員	16名
出席率	61.91%

言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開会点鐘 村上裕司 会長

◆ロータリーソング [我等の生業] 鈴木重忠 ソングリーダー

◆四つのテスト 白岩裕和 職業奉仕委員

♪ 今週の誕生日 ♪♪♪♪ 6月12日 油井 明則 会員 ♪♪♪♪

..... lunch time

◆会長の時間



先月の5月26日のIMの際に、私は飯坂ロータリークラブの事務所で参加をさせていただきましたが、その際にガバナーがいらっしゃるといことで、ガバナーよりも目立つ格好ではよくないと思い、私が持っている中で一番地味なスーツで来ました。ところが、ガバナーに「村上会長、何で真っ赤な格好で来なかったのですか？」と言われて、一度自宅に戻って着替えて、このような真っ赤な格好で参加したという経緯がありました。実は、去年の地区大会の際にも、この格好でいわき秀栄高校に伺い、その際に志賀ガバナーに、いろいろな方をご紹介していただいて、名刺交換させていただいたのですが、この色の格好の方はなかなかいないのだなと思いました。この真っ赤な色は、今お世話になっているレスキュー業、レッカー業を始めた際に、私が自分で緊急性をイメージする色だと思って、この色にしたのが始まりですから、これもこの色が宣伝になって、事故作業も真っ赤なトラックに乗って、現場に行っておりますので、こういうことをやって20年ぐらいになります。私は今51歳で、あと9年で還暦になるわけですが、還暦になるまで、ずっと真っ赤でいるしかないなと自分で思っているところです。今後も、この赤という色が良い色だと思えるように、これからも頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。今日は西協会員のスピーチもありますので、会長の時間はこのぐらいで終わりますが、例会もあと残り3回、私も全力投球で頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



ロータリーソング 四つのテスト

◆幹事報告 生田目正志 幹事 A. 月信 「ガバナー月信」 6月号 No.12

◆職業奉仕委員会より「職場訪問」のお知らせ 鈴木牧子 委員長

今年度がもうすぐ終わりということで、帳尻を合わせるようで申し訳ないのですが、かねてより計画しておりました職場訪問を、来週16日11時集合ということで、千葉会員のサン・ベンディング福島さんに職場訪問したいと思います。現地集合が11時ですので、参加される皆様よろしくお願いいたします。終了後、そのままこちらのロータリーの会場の方に移動するという考えております。よろしくお願いいたします。



◆スマイリングBOX 堀切孝敏 小副委員長 【合計43s】

- | | | |
|-------|-----|---|
| 大内 勝行 | 10s | 親睦旅行ではお世話になりました。 |
| 西脇 徳幸 | 5s | 本日スピーチよろしくお願いいたします。 |
| 服部 裕一 | 3s | 妻に大へんうつくしいうつくしいお花をいただいて 西協会員のスピーチ楽しみにしています。 |
| 村上 裕司 | 3s | 西協会員のスピーチ宜しくお願いします。 |
| 安斎 忠作 | 3s | 西脇様のスピーチたのしみにしています。 |
| 鈴木 重忠 | 3s | 西協会員のスピーチたのしみにしています。 |
| 紺野 容樹 | 3s | 西協会員のスピーチ楽しみにしていました。 |
| 鈴木 牧子 | 3s | 西協会員のスピーチ楽しみにしています。 |
| 嶋 隆章 | 2s | 西協会員のスピーチ楽しみにしております。 |
| 西條 博之 | 2s | 遅刻おわび |
| 渡辺 賢司 | 2s | 西協会員のスピーチ楽しみにしています。がんばってください。 |
| 伊堂 里佳 | 2s | このあいだは、旅行反省会で遊乃里ご来店ありがとうございました。今日は西脇さんのスピーチ楽しみにしています。 |
| 菅野 浩司 | 1s | 西協会員のスピーチ楽しみにしております。よろしくお願いいたします。 |
| 渡辺 哲也 | 1s | 西協会員のスピーチ楽しみにしています。 |



スマイリング報告

◆新会員スピーチ

西脇徳幸 会員



皆様、こんにちは。福島信用金庫飯坂支店の西脇でございます。スマイリングボックスでは、皆様に期待しているといただきました。そのご期待に応えられるかわかりませんが、今日はスピーチをさせていただきます。この歴史ある飯坂ロータリークラブに、昨年10月に入会させていただきました。誠にありがとうございます。ロータリークラブの会員になるとは、考えてもおりませんでしたので、詳しい活動など、全くもってわかりませんでした。今考えますと、ロータリークラブさんにはお世話になっていたということがわかりました。というのは、私の長男と次男は小学生からリトルリーグで野球をやっていたので、クラブは違いますが、福島南ロータリークラブさん主催の「大声杯」という野球大会に参加をさせていただきました。低学年でも大きな声の挨拶で賞をいただいたのがきっかけで、うちの子供たちは野球が好きになりまして、その後も高校まで野球を続けることができ感謝しております。また、次男は福島南ロータリークラブさんの例会の場に招待をいただき、県内のリトルリーグを代表して、野球の公式ボールの進呈を受けました。私より先に例会に出ております。そういうことで、ロータリークラブの活動には、家族一同大変お世話になり感謝しております。

私自身を知っていただくためにも、家族の事や幼少期から現在に至るまでを振り返って、スピーチをさせていただきます。最後に信用金庫の地域創生の活動など、お話をさせていただきます。まずは家族ですが、実家は町庭坂にあり、現在、母が一人で住んでおります。私は上浜町に妻と二人暮らしです。子供は男の子二人で、長男は結婚して伊達市に住んでおります。孫は女の子の孫で、とても可愛いです。次男は大学2年生で、山梨県の都留市に住んでおります。私は昭和39年生まれ。会社勤めと少しの田んぼと畑を耕作する家庭に育ちました。小学校は庭坂小学校、中学校は吾妻中学校に通いました。部活は軟式テニスを始め、冬はスキー部に入部して、日曜には高湯のしゃくなげスキー場に通っていました。高校は福島工業高校に入学し、高校でも軟式テニス部に入り、部活に明け暮れていました。その時に、やはり部活をやっているからには、忘れられない事が絶対あると思うのですが、そんなことが一つあります。個人戦の戦いです。いつも負けていた対戦相手でしたが、こちらも気合十分で有利に試合を進め、あと1点取れば勝利、ベスト4進出というところで、私が最後に決める一球を「真っ向勝負するか」「かわすか」という選択だったのです。その時、かわす方を選択してしまいました。それを相手に決められてしまい、結果、そのまま逆転負けしました。今でも思うのですが、最後は後悔するより真っ向勝負すべきだったと思いました。今でも時々思い返すことがあります。そして、高校卒業後は福島信用金庫に入行しました。当時、電算化がありシステム開発配属と思っていたのですが、営業に配属になり、それから現在まで営業店です。営業店に配属になったきっかけを考えると、面接の時に「仕事を覚える上でも営業店は経験したい」と答えたのが、私のターニングポイントだったと思います。電算課システム開発に居れば、お客様との接点はありませんので、自分の性格からすれば、世間知らずの人間になっていたかもしれません。今思えば、お客様と会える営業店で良かったと思っております。当時の人事役員に感謝しております。梁川支店勤務時代、現理事長の樋口理事長が梁川支店長だった時、本当に樋口理事長は素晴らしい支店長でした。お客様のために時間を惜しまず、誠心誠意、自分の信念を持って突き進む感じで、本当に見習わなくてはと思います。そこで私の仕事に対する取り組みが変わり、良い経験となって、今の私があるのかなと思っております。また飯野支店時代には、東日本大震災があり、土日と警備保障はありましたが、支店に待機しろと言われてまして、その時に原発の爆発をテレビで見ました。爆発した時に飯野支店だったので原発に近く、大丈夫かなと大変不安だった事を覚えております。当時、浜通りから避難の人が押し寄せ、飯野町のガソリンスタンドが最初に底をついたという話を聞きました。また、店舗を一時休業するためのお客様への説明や準備など、不安と苦労の中、進めた記憶があります。福島信用金庫に勤務して、西支店を皮切りに、本店、瀬上、梁川、吾妻、飯野、松川、蓬萊、瀬上の9店舗を経験してきましたので、飯坂町のためにいかせる事はいかしていきたいと思っております。また、飯坂町のために何かできることがないかと常々思っている次第です。

最後に福島信用金庫地域創生の取り組みをお話させていただきます。現在、福島信用金庫では地域創生のための取り組みとして、福島市、伊達市、国見町、川俣町との地域密着連携協定を締結し、自治体と連携して、地域の活性化、地域経済再生に積極的に取り組んでおります。一つ目として、だてな美食オンラインショッピングプロジェクト。この事業は信金中央金庫が日本財団「わがまち基金」を活用して、全国の信用金庫及び地元へ地域に主する事業を採択されたものです。「伊達市の美味しいを全国にお届けたい」をテーマに、福島信用金庫と福島学院大学、道の駅伊達の郷りょうぜんの三者で相互協力に関する包括連携協定を締結しました。三者は福島市の農産物を使用した新たな独自化商品を誕生させ、将来性のある持続可能なビジネスモデルを模索しながら、全国へ発信、届ける仕組み作りに取り組んでおります。それにより独自化のビジネスコンテストが開催されました。その中で、飯坂町の合同会社ふくしま RISE さんの日本酒で仕込むフルーツ酒が準グランプリを受賞しております。二つ目として、信金中央金庫創立70周年記念事業として、「SCB ふるさと応援団」を創設し、福島信用金庫と自治体が連携して取り組む地域創生に関する事業、企業版ふるさと納税で応援しております。それには福島市が推進する「古閑裕而のまち・ふくしまシンフォニー」が採択され、信金中央金庫から福島市へ1千万円の寄付がなされました。三つ目として、伊達市産規格外の桃を使った桃スイーツ商品化に向け、当金庫が伊達市独自化推進のために立ち上げた、だてな美食倶楽部がコーディネートを行い、保原高校美術部にパッケージデザイン並びにネーミングを考案していただき、伊達市内のパティシエに桃のマドレーヌ「モフェット」を作っていただきました。

これで新会員のスピーチを終わらせていただきます。これからも会員の皆様と親睦を図り交流したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。本日はご清聴ありがとうございます。◆閉会点鐘 会長

■理事会開催 6月9日(木) 13:30~「吉川屋」

《内容》2021-22年度第13回議題①2021-22年度仮予算について ②退会会員の承認について ③その他
2022-23年度第1回議題①例会曜日・例会場について ②会場設営について ③名誉会員の推戴について ④認定休休日について
⑤年会費について ⑥2022-23年度年会費について ⑦地区・分区分主なる年間行事について ⑧クラブ内主たる年間行事について
⑨年間計画書作成について ⑩7月の例会プログラム ⑪その他

《出席者》村上裕司、生田目正志、石川邦俊、紺野容樹、吾妻一夫、服部裕一、伊堂里佳、菅野浩司、西山友幸、斎藤孝裕、鈴木牧子、鈴木義明、渡辺賢司、渡辺達也、安斎忠作、畠 隆章、小笠原尚史、佐藤真也、鈴木重忠、油井明則 以上の会員